



福井源乃介議員

上城・奥ため池の改善策はどうなっているか。

町長
平成28年に全面改修する予定です

上城地区の奥ため池は、老朽化や気象によって使えなくなっていますので、早急な改善策を講じるべきではないか。

町長 〓ご指摘の奥ため池は、下流がゴムシート張りです。上流は素掘りのため池です。老朽化は激しいのですが、下流のため池が漏れているかは確認できない状況です。また、昨年からは今年にかけて降雨量が少なく、たびたび枯渇の状況が見受けられます。ため池の本体は、平成28年新規採択予定の県営農村地域防災事業で補修工事を予定している。また、同年採択予定の県営中山間総合整備事業で、上城団地の畑かん事業導入に合わせて補給水を計画します。



老朽化が著しい奥ため池 28年度県営事業で改修

少子化により、園児や児童・生徒が減少しています。ある程度人数の中で競い合いながら学力の向上や集団の中で生きる力の養成をすべきである。また、統廃合を議論して再編整備計画

を策定したうえで、学校施設整備をすべきである。昨年からは提案している町立の保育園・幼稚園、小学校、中学校の統廃合を含めた再編整備検討委員会を立ち上げて議論をすすめるべきではないか。

教育長 〓地区内では大和村が平成23年度に5中学校を1校に、喜界町は平成24年度に9小学校を2校に、3中学校1校にする統廃合が実施されました。鹿児島県では現在、公立小中学校の4割超がへき地に指定され全国最多となつています。議員指摘の再編整備検討委員会については、児童生徒数の大幅増加が見込

ない現状を踏まえた時に、仮称「再編整備検討委員会」を打ち上げて幅広い立場から、学校の統廃合について検討することは有意義なことだと思います。



田皆保育所と田皆幼稚園が一体となった認定こども園「きらきら」

正名地区の県道拡張については、田皆方面から正名にかけて766mが改良されます。引き続き住吉までの区間の整備が必要でありますので、国や県に働きかけて早期の開通をすべきではないか。

町長 〓現在、正名田皆間の急勾配・急カーブ区間の改良を行い、車両の安全通行の確保を図ると共に歩道を設置することによって中学生をはじめとする歩行者の安全な歩行空間を確保する目的で延長766mについて改良工事を行う予定とされています。正名く住吉間の集落内の道路整備については、これまで要望書や議会において、一般質問を度々受けていますが、県の道路改良等の公共事業については、人家密集地区で多額の用地補償費を要する地区・箇所については、優先度評価が厳しい状況であると聞いています。しかしながら、正名地区及び田皆地区の県道整備は本町の道路行政の大きな懸案事項であると認識しておりますので、今後とも引き続き事業の早期採択に向けた要望活動等を続けていきます。